



# だより

江戸川区立葛西中学校  
発行 令和4年 3月15日  
美術科

第 2 号

(題字レタリング 2年1組 大杉 明)

去る3月12日(土)、令和3年度学芸発表会「作品展示会」を開催しました。今年度は武道場をメイン会場として、各展示団体の作品を展示していた生徒から「時間が足りない〜」という嬉しい悲鳴を聞く、充実の展示内容となりました。当日見学できなかった方も、「美術だより」を通してこの1年間の学習の成果がお伝えできれば幸いです。

## 1 展示準備



▲美術科の「窓辺を飾ろう(2年)」と「自由曲のイメージ画(3年)」は、美術部員ととなり合う作品の色合いを考えながら工夫して展示しました。



▲武道場では、展示作品の掲示を工夫して作成する姿が見られました。レタリングが工夫されていると見栄えもよく、展示内容が伝わりやすくなります。



▲展示準備をする以前に、展示できる作品を制作する必要があります。授業から展示準備ははじまっています。時にはひとりで集中して、またときには友人と相談しながら試行錯誤し、一人一人が思いをこめて作品を制作しました。

## 2 展示見学



▲1年生は中学校生活で初めて学習した内容を振り返るとともに、先輩たちの思いのこもった作品を鑑賞し、「こんな作品をつくれるようになりたい!」という意欲がわきました。



▲2年生は昨年度の学びを振り返るとともに、3年生の作品から多くの刺激を受けたようでした。作品鑑賞カードには、「どうやってつくったか知りたい」、「来年度つくるのが楽しみ」といった創作意欲にあふれるコメントが多く見られました。



●**作品鑑賞**は、鑑賞カードに「いいね」と思った作品をメモしながら行いました。

●鑑賞カードのコメントには、「葛西中の生徒のよさが知れてよかった」、「同じテーマなのに色々な表現で、個性を感じた」などあり、鑑賞活動を通して自分や友人のよさを認め合うことができてきたことが分かりました。



\*裏面へつづきます。

# 3 展示全体の様子



\*カラー版はHPにて公開予定です！



▲3年生は展示鑑賞を通して、3年間の学習を振り返ることができました。美術科の展示では、「15歳のわたし」という題材を展示しました。この題材では一人一人が自分自身を見つめ、不安、期待など受験期の様々な思いを込めて作品を制作しました。多くの作品には、「今の自分は悩んでいるけれど、未来へ向かって歩いていきたい」という前向きな思いが込められています。卒業後も大切にしたい作品です。

